

S S K P

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



# いずみ

No.  
182

2016年9月

社会福祉法人 泉会

泉会事務局 〒157-0073 世田谷区砧8丁目31番3号 メゾン成城202号 TEL03(5429)6721(代) FAX03(5429)6722  
info@izumikai.jp http://izumikai.jp/

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)  
二〇一六年八月二十三日発行(S S K P 通巻六四〇五号)



自主生産品の製作風景(泉の家)

### ●本年度の聖句

主は人の一歩一歩を定め  
御旨にかなう道を備えてくださる。  
人は倒れても、打ち捨てられるのではない。  
主がその手をとらえていてくださる。

(旧約聖書詩篇37編23-24節)



## 「寛容と忍耐」ふたたび

理事長 佐分利 正彦



購読している新聞に、ヴォルテールの著作『寛容論』が二度にわたり紹介されました。ヴォルテールは十八世紀半ばに活躍したフランスの啓蒙思想家ですが、『寛容論』の中で彼は十八世紀前半から半ばにかけてフランス各地で多発したキリスト教内の厳しい宗派対立(カトリックとプロテスタント)を批判し、『寛容』の大切さを論じました。

「寛容」という語は【tolerance】(英)の訳語です。異なった宗教や宗派の間で、互いの存在を認め合うことが第一の意味ですが、今日では色々な分野で多様性に価値を認めることや、あるいは忍耐などを含めた意味を持つています。「寛容」の反対は「不寛容」となりますが、最近のイスラム過激派によるテロなどに対抗するために、武力(すなわち不寛容の一つの形)ではなく、「寛容」に注目するということに、フランスの思想の奥深さを感じます。

ところで、標題の「寛容と忍耐」ですが、この二つの語のセットを自らの政治姿勢としたのが、故池田勇人首相です。池田勇人は、岸信介首相の後継として、1960年の後半に首相に就任しました。1960年の前半に、『安保改定』問題によって国論が二分されたことは、当時を知る人たちの記憶に刻み込まれています。こうした世の風潮の沈静化を意図したのでしよう、池田は政権運営の基本として「寛容と忍耐」を置きました。池田自身、首相就任前には何度か政治的な失言をした前歴があったのですが、就任後は「寛容と忍耐」を唱え、少数意見にも耳を傾ける姿勢をとりました。

何かという際だつた発言によって対立をおおる現代の風潮の中にあつて、「寛容」の意味を今一度考え直したいと思ふのです。

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)
二〇一六年八月二十三日発行(SSKP通巻六四〇五号)

事業活動収支計算書

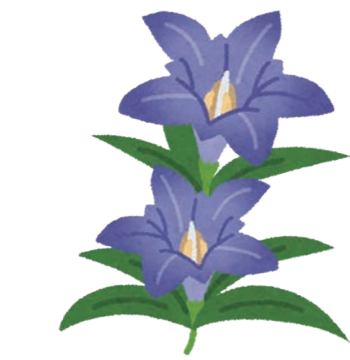
日の出舎 (単位:円)
サービス活動増減の部
収益
就労支援事業収益 11,565,488
障害福祉サービス事業収益 351,458,110
自立支援給付費収益 253,798,871
利用者負担金収益 331,509
経常経費寄付金収入 7,632,055
特定費用収益 25,282,756
その他の事業収益 64,412,919
経常経費寄付金収入 414,000
その他の収益 1,080
サービス活動増減差額(3=1-2) 363,438,678

グループホーム(公益事業) (単位:円)
サービス活動増減の部
収益
就労支援事業収益 0
障害福祉サービス事業収益 0
重度身体障害者GH事業収益 16,396,976
経常経費寄付金収入 0
サービス活動増減差額(1) 16,671,265

本部 (単位:円)
サービス活動増減の部
収益
就労支援事業収益 0
障害福祉サービス事業収益 0
重度身体障害者GH事業収益 0
経常経費寄付金収入 0
サービス活動増減差額(1) 0

岡本福祉作業ホーム (単位:円)
サービス活動増減の部
収益
就労支援事業収益 4,448,057
障害福祉サービス事業収益 170,844,372
自立支援給付費収益 2,358,370
補助金事業収益 1,247,450
受託事業収益 166,924,442
その他の事業収益 314,110
経常経費寄付金収入 10,000
その他の収益 0
サービス活動増減差額(1) 175,302,429

泉の家 (単位:円)
サービス活動増減の部
収益
就労支援事業収益 6,036,624
障害福祉サービス事業収益 151,487,977
自立支援給付費収益 88,033,443
利用者負担金収益 208,308
特定費用収益 2,076,684
その他の事業収益 61,169,542
経常経費寄付金収入 142,130
サービス活動増減差額(1) 157,666,731



2015年 決算報告

事業報告

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)
二〇一六年八月二十三日発行(SSKP通巻六四〇五号)

法人合計貸借対照表の要旨 (単位:円)
科目 金額
資産の部
流動資産 249,189,822
固定資産 1,260,330,212
基本財産 776,377,680
他の固定資産 483,952,532
資産の部合計 1,509,520,034

障害者差別解消法や社会福祉法人制度の見直し等法改正を見据えて準備を進めてきた。特に、規制改革実施計画や社会福祉法の一部改正等は、法人経営に大きく影響を及ぼす内容であり、職員の確保と定着を優先課題とし整備を進めた。各事業所において以下の取り組みを行った。
法人本部
1 虐待防止対応法、就業規則の一部改正やマイナンバー取扱規程の制定を行い、コンプライアンスによる事業運営の基盤を図った。
2 新規事業として、都有地活用によるインフラ整備事業公募に応募し3月に事業者として採用された。
3 職員の処遇改善のため祝日を休日とし、退職金制度も掛金が3倍になるが職員の定着を図るため、引き続き福祉医療機構に加入することとした。

日の出舎・就労日の出舎・相談日の出舎・グループホームいずみ
1 公益事業として運営してきたグループホームいずみの法内化や生活介護の定員増の準備を行ない4月から移行できた。
2 相談支援事業は、契約者が100名を超え、地域福祉サービスの向上に努めた。
3 虐待防止に関する勉強会に利用者として職員がともに参加し意識を高めた。

2016年3月31日現在
泉の家
利用人数 生活介護 20名 20名
就労移行支援 6名 0名
就労継続B型 25名 21名
平均工賃 就労移行支援 0円
就労継続B型 14,314円

# 2016年度法人新人研修について

泉の家 上原絹代

6月24日、30日に法人新人研修を実施しました。参加者は泉の家2名、日の出舎5名、岡本福祉作業ホーム1名の9名で、昨年6月から今年5月までの間に採用された職員を対象にしています。この研修について、参加者のレポートや当日の感想などを交えながら報告します。

参加者は泉の家に集合し、研修全般についてのオリエンテーションを受けます。皆さん緊張した表情で自己紹介され、まさしく『新人』の表情でした。  
鈴木事務局長より諸規程等の説明を受けた後、佐分利理事長による経営理念・基本方針についての講義が始まりました。『ルカによる福音書』から『隣人愛』を考えると、『天職』について内村鑑三の見解に



理事長の講義

ついでに二つのお話でした。参加者のレポートには、「自己肯定感を高める」、「目の前にある仕事に打ち込んでいこううちにその仕事为天職になる」といった話が心に残ったとありました。日常支援業務を誠実に継続しながら、法人がどのような活動をするかが事業の安定につながってくるのかを常に意識してほしいという理事長からのメッセージが十分に伝わったことが伺えました。その後、池田常務理事より組織についての講義がありました。『共通の

目的』『共働意思』『コミュニケーション』の3つが不可欠であると話され、みなさん頷いておられました。

講義のあとは給食を挟んで、泉の家、岡本福祉作業ホーム、玉堤分場、日の出舎、グループホームの見学です。昨年は見学時間が短く、駆け足でしたので、今年は二事業所に四十分ほどを当てています。見学が始まると、参加者たちも少しずつ緊張感が解け、言葉を交わすことが出てきました。

生活介護、就労継続支援B型は全事業所共通なのですが、活動内容の違いや、利用者活動風景の違いに皆さん多くの気づきを持ったようです。案内役の課長の説明を聞きながら、皆さんが積極的に質問する場面も多く見られました。「マッポでのストレッチがよかった」「仕事場という緊張感がある」「環境の工夫」などの活動での発見、「職員に必要とされるスキルの違い」「雰囲気作り」「丁寧な関わり」などのスキル



作業の見学

面の気づき、「利用者が自信をもって説明してくれる」「地域向け体験教室の先生をする」といった利用者が頑張る姿に素直に感心したことなどがレポートにありました。

グループホームでは、利用者が通所中で直接お話を聞くことはできませんでしたが、世話人にその暮らしぶりを説明してもらい、世田谷でも新しく取り組む上北沢のグループホームの参考になったのではないかと思います。

最後の見学場所の日の出舎では、全員で集合写真の撮影をし、この日一番の笑顔でした。



6月30日の参加者

研修レポートは、

- ①「講義から学んだこと」
- ②「施設見学で気づいた事」
- ③「明日から変わりそうと感じた事」
- ④「来年、新人職員が入ってきたときに自分が伝えたい事」
- ⑤「総括」で構成されています。

①、②については、本文中でも報告しました。

③では、泉会の一員としての意識を持ちながら仕事に取り組みたい、一体感が持てた、より良い支援を行いたいとあり、研修をきっかけに、よ

り明確な意識を持てたことが伝わってきました。

④では、コミュニケーションを取り合うこと、アイデアやアドバイスを出し合うこと、先輩の行動を見て考えほしい、相談してほしい、相手の気持ちになって考えることを伝えたい、やりがいや充実感を持てるようバックアップしていきたい、良いところを学び、吸収して成長していきたいといった熱いメッセージが書かれていました。

⑤では、一緒に研修を受けたことで、理事長や他事業所施設長とお話することができ、法人職員として一体感を持てたこと、職員の横のつながりができたこと、他事業所見学で得たものの大きさ、この仕事を天職といえる日が来るよう頑張りたいなどが書かれ、法人職員として成長につながることを実感させてくれました。



6月24日の参加者

さて、最後に参加職員の人となり或少しだけお伝えします。



伊藤支援員(日の出舎)

生まれ変わったら「魔法使い」になりたい



大宮支援員(日の出舎)

長期休暇は「世界遺産を見に行きたい」



河村支援員(泉の家)

今まで一番頑張ったことは「しまなみ街道横断です」



倉田支援員(日の出舎)

生まれ変わったら「鳥になつて空を飛びたい」



谷垣支援員(泉の家)

自分の好きなところは「目立ちたがりなところ♡」



野崎支援員(日の出舎)

好きな言葉は「今を大切に」



野本支援員(日の出舎)

好きな言葉は「過去と他人は変えられない。未来と自分は変えられる」



原島看護師(日の出舎)

好きな食べ物は「フルーツ(洋梨を除く……)」



真野支援員(岡本ホーム)

長期休暇が取れたら「映画を二十本くらい観たいです」

明日の泉会の発展を願い、人材育成に力を入れていきたいと考えおります。



## 泉の家だより



### 思いを描く仕事

就労継続支援B型事業では、常に正確な仕事をすることを目指しています。ですから、昨年度より開始した絵手紙制作では「個性や感性を自由に表現する」というマニエールの無い作業に戸惑いもあった様子でしたが、実際の取り組みを経て「美術とか苦手だったの。でも、やってみたら案外自分も六花亭の包み紙みたいに描けるんだと思った。(佐伯様)」「夢中で描いた。漫画の台詞や四季を思い浮かべて描いている。(山田様)」「別に上手に描けなくても大丈夫で、やってみたらそれなりにできるんだ。(岡田様)」「面白い。色んなことを吸収できる。(張替様)」と、楽しみながら自信をつけておられます。絵手紙制作に関するアドバイスをいただいているボランティア講師の村上さんは「皆さんの作品を見て勉強になる。言葉や絵に性格が表れ、伝えたいことが作品になる。カレンダーを毎日見て、見れば見るほど良い。」と笑顔で語りま

す。絵手紙作品はカレンダーとぼち袋へ商品化して販売中です。今後も新作にご期待下さい。

(石黒 玲奈)



2016年版カレンダー (A6サイズ)

## グループホーム いずみ・のぞみだより



### グループホームのぞみが新設され、早一年が経ちました。

入居されている利用者として「より良い生活」をするためにはどうすればよいかを共に考えてきた利用者会議も7月で21回を迎えます。最初は自分のことが一番という発言が多かったみなさんも、回を重ねるごとに自分以外の利用者のことも考えた発言が多くなり、和気あいあいと話し合いをしています。地域活動としては、週に1回秋



鬼になった沖倉様

来年は、今年実施できなかったお花見を実施したいと思います。利用者も大変楽しみにしています。

(小林 正稔)

## 日の出舎だより



### 日の出舎施設便り

日の出舎の周りは360度見渡す限り山に囲まれていて、気候の変化を肌で感じられ、一年があつという間に過ぎて行くのを日々感じられます。

ふと施設の外に目をやると、霧雨が音を立てずに地面を濡らし始め

ていました。アスファルトの匂いが梅雨の到来を感じさせてくれます。この時期は湿気も多く気持ちも湿りがちになります。そんな中、紫陽花の花がまるで私たちに笑いかける様に、とても綺麗に咲いています。雨に似合う花、薄暗い日常の景色をパッと明るくし、気持ちをも前向きにしてくれるそんな季節の花です。この様に日々日常の変化を感じながら支援しています。話は変わり、6月9日(木)に日の



## 玉堤分場だより



### 分場の夏模様…

玉堤分場は、毎年7月に入ると、ガラス二面に、手漉きハガキが張り出されます。牛乳パックで作った材料に、お花紙を散らし、丁寧に漉きまめながら、均一な重さ、厚さにしめます。水を切り、ガラスに張り付けて乾かします。静かに繰り返しられる作業は、地道で時に息をのむような熟練の技です。

ハガキは、世田谷区から敬老の日に区民の方々に贈られます。重さ、サイズ、厳しい品質チェックをして納品します。



静かに水の音が流れます

出舎では防災意識の向上を目的に、秋川消防訓練審査会に参加しました。残念ながら優勝は逃しましたが、訓練を通じ、有事の際はどのような行動を取るべきなのかを身を持って学ぶ事が出来ました。また、優勝という一つの目標に向けて、仲間や先輩達と力を合わせて練習出来た事が、今後、日の出舎で支援をしていく上で、とてもプラスになったと思います。



日の出舎自衛消防隊

何か課題に対峙した場合も、職員で協力し合い、利用者様の生活を充実したものに出来たらと感じました。(柳田 裕二)

## 岡本ホームだより



### 利用者ピアノコンサート

岡本ホーム生活介護事業では、地域の皆さまとの交流の一環として利用者によるピアノコンサートを今年から始めました。ピアノ演奏者は吉塚尚郎さんです。コンサートでは吉塚さんの選んだベスト曲と、参加して頂いた皆さんからのリクエスト6曲を演奏しました。ご来場頂いたお客様はボランティアの方、バス乗務員の方、泉の家、分場の利用者、職員等、日頃お世話になっている関係者の方でしたが、ピアノ演奏を聴くこ



ピアノコンサートには是非来て下さいね!

とが初めての方が多く、「感動した」等々とも有難い言葉を頂きました。休憩時間には就労事業のコーヒーマスターのサービスやコンサートのボスター作り、当日の司会進行、カメラ係、お客様呼び込み係など準備や当日の進行でも利用者が役割を担い、コンサートを盛り上げました。岡本ホームの活動を知って頂く機会として地域の皆さまにお越し頂けるよう努めていきたいと思っております。

(有馬 恵子)



## 世田谷エリアに おける施設整備

泉の家施設長 保坂俊晴

62年前にキリスト教の方々が、障がいのある方に手を差し伸べ、ご尽力され築きあげた「泉会」。

その精神は今も受継ぎ、時代に即した福祉サービスを、利用される方々と共に作り続けています。

「泉の家」「日の出舎」の建替えを済ませ、日の出エリアでは、グループホームの建築・開設などなど、そして現在は、作業棟を整備しています。世田谷エリアでは、泉の家建替え後、各事業所の課長が中心となり、さらなる泉会の発展に向けて取り組み、利用者・家族へ、アンケートの実施調査・検討を行ない、相談支援事業を開始しました。また、住み慣れた地域で安心して暮らせる場の整備の重要性から、共同生活援助(グループホーム)の検討を続けました。

昨年8月に、東京都と世田谷区が連携をして「都有地活用による地域の福祉インフラ整備事業」により、都営上北沢一丁目第2ア

パート跡地を活用して福祉施設の整備を行う事業者募集があり、早々に説明会に参加し、公募要項に従い事業計画・資金計画・設計の立案を行ないました。理事・評議員会にて承認され、10月に借受申請書類の提出を行ない、審査期間中の1月に、世田谷区のヒアリングがあり、事業内容等の説明や選定委員からの質疑を受けました。

3月に、泉会が借受者に決定し、東京都から連絡を戴きました。

### 【事業内容】

1. 共同生活援助8人 (4人+4人の2ユニット)
2. 生活介護20人
3. 就労継続支援B型30人、以上の計画で施設整備を行ないます。

平成29年度障害者(児)施設整備事業を受けて進めていきます。開所は平成30年11月を予定しています。

世田谷区上北沢地域での新規事業所の開設を楽しみに、全力で取り組んで参ります。今後とも、ご支援・ご協力をお願いします。

## 9月～12月各事業所の予定表

行事	販売会
9/3(土) 施設公開行事(岡本ホーム・泉の家)	9/3(土) 玉川福祉フェスティバル(玉堤分場)
9/1(木)～9/2(金) 一泊旅行(日の出舎)	10/15(土) 16(日) 尾山台フェスティバル(玉堤分場)
10/6(木)～10/7(金) 一泊旅行(就労日の出舎)	10/26(水) いきいきせたがや文化祭(岡本ホーム)
10/28(金) 日帰り旅行(日の出舎)	10/27(木) いきいきせたがや文化祭(泉の家・玉堤分場)
10/28(金) 日帰り旅行(玉堤分場)	11/13(日) 区民ハーフマラソン(泉の家)
11/11(金) チェンパロコンサート(玉堤分場)	12/4(日) 区民ふれあいフェスタ(泉の家)
12/10(土) 年納め会(岡本ホーム)	
12/20(火)～12/25(日) 岡本ホーム作品展(世田谷美術館)	

予定は変更する可能性があります。行事・販売会については各事業所にお問合せください。

### \* 社会福祉法人 泉会 \*

法人本部 泉の家	〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号 ☎03(3417)3451(代) ☎03(3417)3463 izumi@izumikai.jp	岡本福祉 作業ホーム	〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号 ☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976 okamoto@izumikai.jp
日の出舎 就労日の出舎 相談日の出舎	〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番 ☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205 info@hinodesha.org	玉堤分場	〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号 ☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433 tamatumi@izumikai.jp
グループホーム のぞみ いずみ	〒197-0804 あきる野市秋川2-3-1 ☎042(533)3608 ☎042(533)3609 〒197-0825 あきる野市雨間322-12 ☎☎042(550)9083	相談支援センター おかもと	soudan-okamoto@izumikai.jp

## 編集後記

夏が終わり、間もなく下半期に入ります。事業計画を確認しつつ、利用者と活動する時間を大切にしていきたいです。

泉の家 水原